

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学リウマチ膠原病内科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2026年 5月

福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科学講座 下島恭弘

■ 研究課題名

ANCA 関連血管炎の長期予後に関与する臨床的再発因子の解明

■ 研究期間

2026年5月 ～ 2031年10月

■ 研究の目的・意義

抗好中球細胞質抗体（ANCA）関連血管炎は、身体に血液を送る小型の動脈に炎症を引き起こす疾患です。さまざまな臓器にも障害を生じて、深刻な後遺症を残したり、時には命に関わる原因になることもあります。近年、新しい治療が開発されていますが、長い治療経過の中で再発を繰り返すことが経験されます。本研究では、どのような患者さんが再発を起こしやすいのかを調査して、再発しない有効な治療選択や治療計画の確立に結びつけることを目的とします。カルテに保存されている診断・治療・検査・治療後の経過に関する情報を抽出し、研究目的に即した解析を行います。

■ 研究対象となる方

以下の①②③すべてに該当する患者さんが対象になります。

- ① 2012年1月1日～2026年3月31日の間に、福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科、太田西ノ内病院膠原病・リウマチ内科および福島赤十字病院リウマチ・膠原病内科でANCA関連血管炎（顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を含みます）と診断された。
- ② 同医療機関でANCA関連血管炎に対する治療が開始された。
- ③ 診断時に18歳以上で、感染症や悪性腫瘍の合併がなかった。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から性別、年齢、診断に関わる診察の所見、検査所見、治療の結果、治

療後どのような転帰をたどられたか、などのカルテに保存されている項目についてデータを収集します。これらのデータを用いて、再発に関わる要因を解析します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年6月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学リウマチ膠原病内科学講座であり、全ての研究機関とその研究責任者、および既存情報の提供のみを行う機関とその提供する者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学リウマチ膠原病内科学講座で解析を行います。

【研究組織】

研究責任者	福島県立医科大学リウマチ膠原病内科学講座 主任教授 下島恭弘
既存情報の提供のみを行う機関・提供する者の氏名	・太田西ノ内病院膠原病・リウマチ内科 副院長/部長 鈴木英二 ・福島赤十字病院リウマチ・膠原病内科 医師 松本聖生

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当しません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部リウマチ膠原病内科学講座 担当：下島恭弘

2026年 3月 25日作成 (第1版)

電話：024-547-1171 FAX：024-547-1172